

改訂 平成 27 年 10 月 10 日

公益社団法人 日本技術士会
近畿本部機械システム部会 各位

公益社団法人 日本技術士会
(主催) 原子力・放射線部会
(協力) 近畿本部 機械システム部会
部会長 飯野 勝彦

**日本技術士会原子力・放射線部会主催
「第 47 回技術士の夕べ」Web 講演会開催のご案内**

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

原子力・放射線部会主催「第 47 回技術士の夕べ」Web 講演会を、下記のとおり開催いたします。

今回は、“信頼性の回復”をテーマに、「原子力技術の信頼性を回復するには？」という題目で、前日本原子力学会長の藤田玲子氏にご講演いただきます。機械システム部会を構成する技術士にとっても非常に興味深いテーマですので、奮ってご参加頂きますようお願い致します。 敬具

記

1. 日時：平成 27 年 11 月 20 日（金）18:00 ～ 20:00（17:30 から受付開始）
2. 場所：日本技術士会近畿本部 会議室（日本技術士会葺手第二ビルと Web 中継）
〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル 2 階（TEL 06-6444-3722）
アクセス：地下鉄四ツ橋線 本町駅 25・28 番出口から北へ徒歩約 3 分
3. 演題 「原子力技術の信頼性を回復するには？」
4. 講師 藤田 玲子（ふじたれいこ）氏
〔(独) 科学技術振興機構 ImPACT プログラム・マネージャー、前日本原子力学会長〕

ImPACT：革新的研究開発推進プログラム JST：科学技術振興機構

講師略歴

東京都生まれ。早稲田大学理工学部を卒業、1982 年東京工業大学大学院 総合理工学研究科 博士課程修了後、1983 年（株）東芝入社（原子力技術研究所）。2012 年～（株）東芝 電力システム社 電力・社会システム技術開発センター主席技監。2010 年より日本原子力学会の理事を勤め、2014 年同会長（女性初）に就任。2014 年～ImPACT プログラム・マネージャー（JST へ休職出向）

文部科学省の革新的原子力システム公募で 6 件が採択されるなど、金属燃料サイクルの乾式再処理技術開発の第一人者。電力中央研究所、日本原子力研究開発機構などとの共同研究を推進。1995 年日本原子力学会技術賞、1999 年同論文賞など多数受賞。理学博士

5. 講演概要

東日本大震災、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故（福島事故）から 4 年 6 か月が経ったが、現在でも 10 万人以上の方が避難されている。福島事故により失われた原子力技術に対する信頼性を回復することは並大抵の努力ではできない。信頼性を回復する方策としては、福島事故の責任を明確にする。まずははじめをつけることが重要である。事業者と国が公に謝罪することは言うまでもないが、俯瞰的に考察すると福島の再生・復興への協力、サポートおよび原子力の新しい研究・技術開発などが重要である。福島の再生・復興に関しては日本原子力学会が理事会直結の福島特別プロジ

ェクトを組織し、2012 年から活動している。新しい研究・技術開発は緒に就いたところだが、「究極に安全な軽水炉」や「核変換による高レベル放射性廃棄物の大幅な低減・資源化」などが進められている。今後、他の学会と協力して新しい分野を開拓する必要もある。日本原子力学会の取り組みを中心に、今後のめざす姿も含めて紹介する。

6. 参加費（近畿本部）： 無料（Web 中継につき）

7. 参加申し込み

次の E メールアドレスへ「会員（技術士（補）、部門）」又は「非会員」を明記の上、「Web 講演会参加」とご連絡下さい。

UGP39175 @nifty.com

（迷惑メール防止のため、@の前に半角スペースが入っています。上記アドレスにメールをお送りの際は、半角スペースを削除して下さい。）

【お願い】 申し訳ありませんが、既にお申込みの方も、上記の E メールアドレスへ再度ご連絡をお願いいたします。11 月 14 日（土）開催の「第 55 回例会」のお申込みと区別がつかなくなっております。

以上